



PGM 世界ジュニアゴルフ選手権 日本代表選抜大会

『IMGA世界ジュニアゴルフ選手権』 世界大会最終日結果

皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

一般社団法人 国際ジュニアゴルフ育成協会(IJGA)では、PGMホールディングス株式会社に特別協賛を頂き、アメリカ・カリフォルニア州サンディエゴTorrey Pines（トーリパインズ）他で行われる『IMGA世界ジュニアゴルフ選手権』への出場権を目指す『PGM世界ジュニアゴルフ選手権 日本代表選抜大会』（2018年2月24日（土）九州・沖縄予選から2018年4月15日（日）北海道予選までの8つの予選大会と東西決勝2大会、U6決勝大会）を日本国内のPGM運営の各ゴルフ場にて開催し、日本代表選手団を送り出しました。

『IMGA世界ジュニアゴルフ選手権』の最終日の結果が出ましたので、お知らせいたします。

<http://juniorworldgolf.com/>

■各部門の結果（各日のスコア）は、上記サイトよりご覧いただけます（英語版のみ）。

<IMGA世界ジュニアゴルフ選手権>

◇最終日◇7月13日◇15—18歳の部男女

◇男子米トーリー・パインズGCサウスC（7202ヤード、パー72）女子同ノースC（6118ヤード、パー72）

女子で、仲村果乃（奈良・奈良育英高2年）が3位に食い込んだ。首位チャン・ツーイー（台湾）に1打差2位でスタートし、2打差で折り返したが、インに入って3バーディーのチャンに引き離され、通算3アンダー285で3位となった。六車日那乃（千葉・麗澤高1年）、比嘉里緒菜（沖縄・興南高1年）、小野里リア（熊本・クリスチャン・アカデミー・イン・ジャパン高熊本分校3年）が日本勢3人同組という珍しい組み合わせになり、来年シード権（前年実績10位以内）を目指したが、トップ10入りはならなかった。男子は4位からスタートの河本力（神奈川・日本体育大1年）が序盤に不運もあってスコアを落とし、通算2オーバー290で15位に終わった。団体戦は男子（蟬川泰果、中尾亮太）、女子（六車日那乃、比嘉里緒菜）とも5位に終わった。

【日本代表最終成績】

▽15—18歳の部男子

【1位】ソープ（オーストラリア）= 284

【15位】河本力（神奈川・日本体育大1年）= 290

【26位】蟬川泰果（大阪・興国高3年）= 293

【33位】中尾亮太（京都・同志社高3年）= 294

▽同団体

【1位】メキシコ（フィゲロア、マダリアガ）= 580

【5位】日本（蟬川、中尾）= 587

報道に関するお問い合わせ

大会事務局広報 (株)フューチャー・ピーアール・アンド・メディア 永田 全宏
電話：070-6476-9384 FAX：050-3737-7740 Email：nagata@fpm11.net

< I M G A 世界ジュニアゴルフ選手権 >

【日本代表最終成績】

▽15-18歳の部女子

【1位】チャン（台湾） = 280

【3位】仲村果乃（奈良・奈良育英高2年） = 285

【12位】六車日那乃（千葉・麗澤高1年） = 292

【14位】比嘉里緒菜（沖縄・興南高1年） = 293

【20位】小野里リア（熊本・クリスチャン・アカデミー・イン・ジャパン高熊本分校3年） = 294

【43位】石川茉友夏（群馬・前橋育英高3年） = 301

▽同団体

【1位】オーストラリア（チョイ、キリアコウ） = 576

【5位】日本（六車、比嘉） = 585

● I M G A 世界ジュニアゴルフ選手権 ハイライト1

◇15-18歳の部女子◇7月13日◇最終ラウンド

◇米トリー・パインズGCノースC（6118ヤード、パー72）

仲村果乃（奈良・奈良育英高2年）が、悔しい3位となった。通算5アンダーで首位チャンに1打差2位からスタートしたが「パッティングが思うようにいかなかった」と振り返るように、3回けられるなどカップに嫌われた1日。折り返しまでは逆転の可能性を残していたが、チャンが11、15、16番で伸ばしていくのについていけなかった。最終18番で2メートルほどのパーパットを外して通算3アンダーで3位に。「安全に行きながら、チャンスが来たら伸ばしていこうと思ったのですが、なかなかうまくいかなかった」と悔しさをにじませた。日本勢3連覇中のカテゴリーで、初出場ながら先輩からのバトンを引き継ごうと戦った。「4日間やれてうれしいといえはうれしいですけど、満足はしていません。来年、リベンジしたい」と早くも闘志を見せる。課題を聞くと「腕です」と笑い「一緒に回った2人（チャン、チョイ）はチャンスには絶対に入れてきた。こちらの環境もわかったので、次に向けて練習します」と話していた。



写真：15-18歳女子 仲村果乃
©IJGA2018

● I M G A 世界ジュニアゴルフ選手権 ハイライト2

◇15-18歳の部男子◇7月13日◇最終ラウンド

◇米トリー・パインズGCサウスC（7202ヤード、パー72）

河本力（神奈川・日本体育大1年）は「世界ジュニア最終年」を15位で終えた。通算1アンダーで首位に5打差4位からの逆転を狙ってスタートしたが、序盤で不運。アゲンストの1番で第1打、第2打とも2、3ヤード飛距離が足りずにバンカーにつかまるボギー発進。3番でボギー後、4番で1メートルにつけるバーディーで「あのセカンドショットで悪い流れを断ち切れたかと思った」と振り返るが、5番で左ラフからの第2打でフックをかけようとしてそのまま右ラフに突き抜けるボギーと、序盤でスコアを落としたのが最後まで響いた。「日本では勝つときは引き離して逃げ切りみたいなのが多くて、追いかけるという経験がなかった。プレッシャーをかけてもいけないと思ったのですが…。いい経験になったと思います」と、大学生として出場した最後の世界舞台でまた1つ、経験を積んだ。優勝スコアが4アンダーと知ると「もったいなさすぎる。悔しいですね」と、芝生に倒れ込んだ。今後は学生の試合のほか「プロツアーにももっと挑戦できたら」と話していた。



写真：15-18歳男子 河本力
©IJGA2018

● I M G A世界ジュニアゴルフ選手権 ハイライト3

◇15-18歳の部女子◇7月13日◇最終ラウンド

◇米トリー・パインズGCノースC(6118ヤード、パー72)

六車日那乃(千葉・麗澤高1年)、比嘉里緒菜(沖縄・興南高1年)、小野里リア(熊本・クリスチャン・アカデミー・イン・ジャパン高熊本分校3年)が、珍しく日本勢だけの同組で回った。3人とも12位タイからのスタート。来年のシード権獲得の順位は発表されていないが、前年実績だと10位タイとあって、全員トップ10を目指した。しかし、六車がこの日1オーバーで通算4オーバーの12位だったのが最高で、3人ともスコアを落とす結果になった。2日目に4位まで浮上した六車は、目に涙を浮かべて「心が疲れました。優勝も狙える位置まで行って…伸ばせなかった自分が悔しい。1つでも順位を上げたい気持ちはあったんですけど。来年、また来たい」と言葉を詰まらせた。小野里は「悪いなりに頑張りました。去年は予選落ちしたので今年は4日間やれて自信になった。バーディーを前よりも取れるようになった」と収穫を口にした。女子主将の比嘉は「もともとボギーが少ないのが自分のゴルフなんですけど、前半からボギーが来てしまって。グリーンの細かいアンジュレーションを見分けられなかった」と振り返った。



写真：プレー中

左から比嘉里緒菜、六車日那乃、小野里リア
©IJGA2018

※U6、7-8歳男女、9-10歳男女、11-12歳男女、13-14歳男女の最終結果は昨日送付しております。

★最終日のハイライト写真を下記にアップロードしております。

<http://xfs.jp/qKJ5z9>

報道に関するお問い合わせ

大会事務局広報 (株)フューチャー・ピーアール・アンド・メディア 永田 全宏
電話：070-6476-9384 FAX：050-3737-7740 Email：nagata@fpm11.net

IMG A世界ジュニアゴルフ選手権 日本代表選手団 出場選手一覧

- 15-18男子: 河本 力 (神奈川・日本体育大1年)★/15-18歳男子6位 (17年世界大会)
15-18男子: 中尾 亮太 (京都・同志社高3年)=18年西日本1位
15-18男子: 小木野 太優 (大阪・近畿大付高2年)=18年西日本2位
15-18男子: 吉田 隼汰 (茨城・日本ウェルネス高1年)=18年東日本1位
15-18男子: 蟬川 泰果 (大阪・興国高3年)=18年東日本2位
15-18女子: 比嘉 里緒菜 (沖縄・興南高1年)★/13-14歳1位 (17年世界大会)
15-18女子: 小野里 リア (熊本・クリスチャン・アカデミー・イン・ジャパン高熊本分校3年)=18年西日本1位
15-18女子: 仲村 果乃 (奈良・奈良育英高2年)=18年西日本2位
15-18女子: 石川 茉友夏 (群馬・前橋育英高3年)=18年東日本1位
15-18女子: 六車 日那乃 (千葉・麗澤高1年)=18年東日本2位
13-14男子: 吉沢 己咲 (群馬・藤岡北中2年)★/11-12歳女子6位 (17年世界大会)
13-14男子: 仲宗根 祥仁 (沖縄・緑風学園久志中2年)=18年西日本1位
13-14男子: 横山 翔伍 (宮崎・姫城中2年)=18年西日本2位
13-14男子: 中野 麟太郎 (東京・明大付中野中3年)=18年東日本1位
13-14男子: 竹原 佳吾 (神奈川・森村学園中等部3年)=18年東日本3位
13-14女子: 森 愉生 (岡山・倉敷西中2年)★/11-12歳女子1位 (17年世界大会)
13-14女子: 杉浦 愛梨 (愛知・高浜中3年)=18年西日本1位
13-14女子: 藤井 美羽 (愛知・千種台中2年)=18年西日本2位
13-14女子: 花田 華梨 (栃木・宝木中3年)=18年東日本1位/13-14女子14位 (17年)
13-14女子: 榎本 杏果 (東京・新宿中3年)=18年東日本2位/13-14女子60位 (17年)
11-12男子: 松井 琳空海 (愛媛・高津小6年)=18年西日本1位/9-10歳男子8位 (17年)
11-12男子: 本 大志 (神奈川・末吉中1年)=18年東日本1位
11-12女子: 二宮 佳音 (群馬・笠懸北小6年)★/9-10歳女子4位 (17年世界大会)
11-12女子: 三明 桜子 (福岡・沖学園中1年)=18年西日本1位
11-12女子: 藤代 成実 (埼玉・八潮中1年)=18年東日本1位/11-12歳女子12位 (17年)
9-10男子: 梶谷 駿 (岡山・総社東小5年)★/9-10歳男子5位 (17年世界大会)
9-10男子: 篠原 和樹 (愛媛・川の江小5年)=18年西日本1位
9-10男子: 渋井 晃太郎 (神奈川・瀬戸ヶ谷小5年)=18年東日本1位
9-10女子: 清水 心結 (埼玉・中尾小4年)★/7-8歳女子1位 (17年世界大会)
9-10女子: 菊田 ひな (香川・さぬき北小5年)=18年西日本1位
9-10女子: 斎藤 碧夏 (北海道・北光小5年)=18年東日本1位
7-8男子: 根本 悠誠 (千葉・小山小3年)★/7-8歳男子第6位 (17年世界大会)
7-8男子: 加藤 金次郎 (愛知・長根小2年)=18年西日本1位
7-8男子: 石口 寛樹 (奈良・大正小3年)=18年東日本1位
7-8女子: 長峰 真央 (千葉・北貝塚小3年)★/7-8歳女子第2位 (17年世界大会)
7-8女子: 蕪木 梨央 (千葉・加茂学園小2年)★/U6第2位 (17年世界大会)
7-8女子: 鈴木 めい (千葉・豊岡小3年)=18年西日本1位
7-8女子: 渡部 琴 (東京・東京ウエストインターナショナルスクール3年)=18年東日本1位
U6男子: 福井 誠ノ介 (愛知・東郷町中部保育園年長)=18年決勝1位
U6女子: 越水 愛理花 (東京・神宮前小1年)=18年決勝1位

★ = シード選手